

## 思い廻るままに

11期 たつとみ 達富 おさむ 脩

“夕べの星のまたたきを 理想の影と仰ぎつつ 人は家路に向う  
とき 勇みて集う文の窓 われら…北辰…健…男…児”

私がこの原稿を書こうとして筆を執ったとき、なぜか無意識の裡にこの校歌を口ずさんでいました。卒業して以来やがて六十四年が経って以来一度も歌うことがなかったのに歌えるなんて今更ながら歌詞と旋律の持つ記憶を蘇らせる不思議な力に驚嘆しています。これが私の母校への愛着の証でもあるのでしょうか？

私は怠け癖と貧乏の両方で高等尋常小学校しか行かれず昭和20年卒業後は吹田市内の小さな町工場を転々としていましたが、私の姉が勤めている工場に入れてもらったときに、そこの社長が“脩ちゃん、あんたは勉強しなあかん。夜間の学校でもええから行ったらどうや。北野中学に夜間部があるから受けてみたら”と言われて、その気になり、入学願書を出したその時が少し大袈裟かも知れませんが、私のその後の運命を大きく変える切っ掛けになったと言っても過言ではありません。でなければ北辰会の皆さんとのこのようなご縁も永遠になかったことでしょう。

入学試験を受けたものの半分諦めかけていたところに合格の通知を受け小躍りして喜んだ時のことを今でも思い出します。昭和23年4月晴れて北野第二中学校の第十一期生として入学を許され、年令も職業も様々な同級生が沢山いましたが直ぐ友達もでき楽しくなりました。中でも山田君、磯部君、池畑君、寺沢君、小川君等々とは六人組になりました。山田君とは今でも交流が続いています。残念ながら磯部君、池畑君は既に他界し他の二人とも交信がないのを淋しく思います。

最初の担任は口頭試問の試験官でもあられた大野先生でした。英語では、担任の大野先生を始め、小川先生、第六期生の河原先生、堀口先生、小田先生、上田先生、国語では井戸先生、秦先生、同先生には時々朗読を指名してもらいました。小浜先生には“有言実行か不言実行か”のテーマで討論のあり方を教えてもらいました。数学では後藤先生、物理では足立先生、日本歴史の三宅先生、村川先生、同先生は卒業後も11期生の同期会には参加していただいております。東洋史の旗田先生、生物の亀井先生の授業では英語を交えて教えられましたが、私も英語が好きだったので先生の授業が大変気に入りました。

社会科の三橋先生からは職業として目指すなら“公認会計士”がよいぞと教えてもらいましたが、難しいので諦めました。化学の清原先生、絵画は岡島先生、授業中裸婦の絵を見てヒソヒソとコソ笑をして注意されたことを執念深く記憶しています。音楽の金田先生には音楽を教えてもらいましたが、その時に習った歌を今でも覚えています。また、先生は校歌の最後の北辰健男児のところを歌いやすく変曲されました。私が今も音楽好きになったのも、先生の影響が大きかったからだ



と思っています。このように諸先生方の個々の授業内容についての知識としての記憶はありませんが、人生如何にいくべきか？ということを経験の雰囲気を通していろいろと薫陶を受けたように思います。それが今も私の心の糧としてあるように思います。この点において、師の恩を忘れることはできません。私は教育の重要性もこの点にあることを痛感しております。

高校 2 年のとき同級の佐野君が伊丹の米軍航空隊基地に勤めていたことからそちらに世話してもらうことになり、昭和 33 年 3 月に同基地が日本政府に返還されるまで勤務しました。その間に本場の英会話を職場の米兵から敬語も卑語もいろいろと教えてもらいました。

ここに一つの奇遇がありました。当時阪急線の蛍ヶ池駅から基地までの途中で毎朝一人の若い青年が本を読みながら歩いて来るのを見かけました。それが誰だろう川野眞次郎前北辰会会長であったのであります。川野さんとは E S S クラブで一緒したこともありました。また、ご自宅に E S S 仲間と一度お邪魔したこともありました。

さて、卒業後は米軍基地の勤めから、東京商工興信所（現東京商工リサーチ）に転職し外国部で企業信用調査の翻訳の仕事をするようになりました。その間同僚の辻野君と福島区大開町で「志学院」という名の英数私塾を共同で始めましたが、副業は認めないという会社の方針により、私塾経営に転換することになりました。

一方、私が吹田から宮崎県の延岡市に移住した事情は私の実父が戦前から宮崎県延岡市で宮崎ガス会社にお世話になっており、昭和 29 年定年退職と同時に同社からサービス業務の委託を受けて事業をしておりましたが、父からの懇願で後継することになり昭和 36 年四月、永年住み慣れた吹田を離れてここ延岡に単身来ることになったからです。以来今日まで 64 年の経過であります。その間昭和六十年から宮崎市内にも店舗開設し宮崎ガス総合サービスセンターという社名で経営しております。現在も週 2 回特急電車で延岡から宮崎間 1 時間の通勤です。お陰様で健康には恵まれて殆ど病欠勤せず現役で頑張っております。健康でやるべき仕事のあることは最高の幸せであると思っております。

平成 28 年 9 月 20 日

(宮崎県延岡市在住、宮崎ガスサービスショップ経営)

\*事務局より 宮崎県から何時も北辰会へ熱いご支援を頂いている達富さんから事務局に文集、「北辰 V」～はたるに雪に～原稿が届きました。達富さんに「北辰会 HP」への掲載許可を頂きました。